

# 日本山岳写真協会 選抜展 「それぞれの山」

日 時／平成17年12月10日(土)～19日(月)

会 場／コニカミノルタプラザギャラリーC

1	宝剣岳 春へ	荒谷 公隆
高気圧に覆われた快晴の一日、昨日降った雪が舞い上がる。午後には風も止み、春を感じた。		
2	雪稜小景 - 厳冬の中央アルプス稜線から -	伊原 明弘
厳冬の中央アルプス稜線。盟主である宝剣岳に目をうばわれがちであるが、ゆっくり見回せば、あちらこちらに厳冬期ならではの雪稜のすばらしい光景が……。雄大さ、荘厳さ、華やかさには一歩ひけをとるが、私の心をゆり動かすほんの小さなひとコマ、ひとコマ。		
3	冬の麗人	大石 高志
日本の山の姿は、四季の変化により様々な形・色彩・雰囲気をお私たちに前に見せてくれる。春には、新緑のまぶしい緑、夏には、高山植物にあふれた花園、秋には、紅葉に彩られた錦図、そして冬には、青空の中の透けるような白い貴婦人が登場する。冬の冷たくも美しい山の姿を表現した。		
4	暁光の山岳	小澤 正美
山の夜明けは静寂。凜とはりつめた空気の中で荘厳で素晴らしい。藍い闇の空が次第に白け、山頂が徐々に淡紅から深紅に、オレンジ色から黄金色に光の帯が山肌を谷へと染め下る。数分の極く短い荘厳で感動あふれるドラマである。清々しいこの朝の光景は身も心も洗われる。 ”山よ お早よう ご機嫌よろしゅ また来る時にも笑って おくれ、また来る時にも笑って おくれ……”		
5	錦繡の裏剣	小田 薫
標高 2,100メートルの池ノ平は、劔岳の北東に位置し、池ノ平山と仙人山に囲まれ、八ツ峰やチンネ等の鋭い岩峰と平ノ池に映える山々の倒影が美しい。真紅のナナカマド、黄金色の木々が織り成す錦繡の秋景は、大空に広がる罎雲と巻雲で裏剣を更に引き立ててくれた。		
6	爽夏 奥大雪	川野 誠
大雪山は、北海道中央部の旭岳を盟主とする山岳群の総称である。とりわけ大雪山東部の奥大雪とも言える静寂境を保っている。夏、残雪多く、花と緑に包まれた、雄大な奥大雪の爽気に触れての逍遥山行の楽しさは格別である。		
7	北アルプス 硫黄尾根	清水 純夫
仙客を阻む尾根の先に、仙界の地を想う。 赤く剥き出した岩稜に魅了され、カメラを向け対峙する。やがて、雲は動き、花は輝き、山は仙楽の響き。		
8	晩秋のダケカンバ	名取 洋
花崗岩の白砂に彩られる鳳凰三山。富士山や北岳の展望台としても人気がある。山頂付近は森林限界となっており、ダケカンバが美しい。6月の新緑、10月の黄葉も写欲をそそるが、晩秋の一日、太陽光線をいっぱい浴びた、落葉したダケカンバも趣がある。		
9	秋・小田代ヶ原	長谷川 洋一
奥日光には男体山、白根山と山々が連なる。その中のオアシス小田代ヶ原。新緑、花々、紅葉、雪化粧と、四季折々に素晴らしい風景を見せてくれる。特に紅葉に彩られる季節は絶景である。例年になく台風の上陸が多かった昨年、湖水が出現し、黄葉を映し出す光景が見事であった。		
10	夏・涸沢	細野 弘
抜けるような青空の中で、降り注ぐ太陽の光に照らされ、高山植物は光り輝いている。 夏の山は短い、「涸沢」周辺は、穂高の山々に囲まれ豊富な残雪や水に恵まれ、ハクサンイチゲ、シナノキンバイ、アオノツガザクラ等、多くの植物が豊かな表情を見せてくれる。 稜線に出れば、迫力ある山岳風景を楽しむことができる。		
11	星空のファンタジー	前田 春好
勇士ペルセウス座流星群に胸をふくらませて登ってきた。雲、月明かりもなく、すぐに流星をとらえられた。南天には、いて座、さそり座が輝いている。オリオン座が輝き出した頃には、山小屋が灯り出し、西天に白鳥が舞っていた。期待した流星群には出会えなかった。又、次回に期待したい。		
12	槍ヶ岳・秋色に染まる	前羽 光雄
秋の香り漂う奥飛騨、蒲田川左俣から鏡平、双六岳への山路、いつも目に飛び込んでくるのは、槍穂高連峰。中でもその存在感を誇示する槍ヶ岳の勇姿。しかし、気象条件の悪さゆえ、なかなか姿を見せないことも。草紅葉、ナナカマドの赤、それらを従え、秋色に染まる。樺沢岳からの夕映え、雲海が一気にせり上がり、一瞬のうちに雲の中へと……。		
13	雪面の貌	松原 貴代司
私は雪面が煌くときが好きだ。彼女は逆光により輝く。しかも、日の出や日没の時に、彩を添え美しい姿を見せてくれる。その時、ファインダーを覗く私は至福の時を過ごす。作品は、劔・別山の日の出時の時の流れを連作的に捉えたものである。		